

むらやま 議会だより



写真／葉山中学校 吹奏楽部

もくじ

◎政策提言	P 2～3
◎9月定例会	P 4～5
◎決算特別委員会・9月補正予算	P 6～7
◎一般質問	P 7～10
◎新議会体制	P11
◎議会活動レポート	P12～13
◎市民の声	P14



←携帯からはコチラ



政策提言を実施

9月定例会最終日に政策提言を決議し市長に提出しました。

村山
市議会
初

⑤ 近隣自治体視察



鶴岡市
地域公共交通の再編



⑥ 行政視察



岩手県紫波町
フルデマンド型バス運行について

計画がしっかり
している

提言1 市民のニーズと地域特性を的確に把握し、市全体を見据えた地域公共交通ネットワークの構築を行うこと

提言2 交通手段を最適化し効率的で持続可能な公共交通の実現を図ること



⑤ 近隣自治体視察



南陽市の取り組み
地域おこし協力隊を採用



市ホームページ
政策提言

提言1 「自分たちの農地は自分で守る」という観点重視の対策

提言2 市鳥獣被害対策実施隊の負担軽減と待遇改善

提言3 鳥獣被害対策を専門とした人員の確保

提言4 市街地出沒時の対応の改善・強化



緊急要望



クマの脅威はそこまで来ている！
緊急銃猟について

- ◎ 緊急銃猟実施者への必要経費負担
- ◎ 緊急銃猟実施者の団体保険加入
- ◎ 緊急時における関係団体との連携
- ◎ 緊急時に対応できる訓練の実施

市政の課題を深堀り！
政策の実現に
向けて

各常任委員会が

常任委員会ごとにテーマを定めて調査研究を行い、

総務文教常任委員会

委員の
意見

免許返納後の暮らしに不安があります。
交通弱者の多様なニーズへの対応が必要です。

① テーマ設定



市営バスを調査

市民の「足」
地域公共交通に
決定

③ 市の現状調査



楯岡交通(株)・社会福祉協議会
意見交換会

福祉としての取り組みは
どこまで？
運行委託者として
どう見える？

② 意見・アンケート



民生委員・児童委員を通して
交通弱者の声や状況を把握

④ 近隣自治体視察



尾花沢タクシー(株)
ICカード利用可、民間と共創

産業厚生常任委員会

委員の
意見

野生鳥獣による農業被害が深刻で、市街地へのクマの出没も心配です。
関係機関や地域住民が一体となった対策が必要です。

① テーマ設定



市の現状を調査

有害鳥獣対策に
決定

③ 現状調査



猟友会会員による
囲い罠の設置

猟友会まかせていいの？
まちにクマがでたら
どうする？

② 意見交換



猟友会の会員
みなさんと意見交換会

④ 近隣自治体視察



長井市の取り組み
有害鳥獣を自動検知



6万円 16万円 を認定

9月
定例会

令和7年第3回定例会は9月24日から10月14日までの会期で開催され、令和6年度決算などの審議を行いました。

条例の改正、人事案件など16件が提案され、一般会計補正予算、特別会計補正予算、決算7件は特別委員会に付託し、全議案原案のとおり認定・可決し閉会しました。

議員発議

- ・総務文教常任委員会
地域公共交通に関する
政策提言
- ・産業厚生常任委員会
鳥獣被害対策に関する
政策提言

歳入

 **寄附金** 23億2,737万円
ふるさと納税は前年度より7,467万円増加

 **財産収入** 6,643万円
スマイルタウン俵町、はやまの住宅団地売
払いによる2,277万円の収入など

歳出

 **消防指令業務共同運用
施設整備負担金** 1億8,992万円
北村山管内で消防指令業務を共同で行うもの

 **村山駅西整備費** 2億637万円
土地購入費・測量調査業務委託料など

9月定例会 審議討論

○請願第3号・4号について

(請願の内容は、

P5の審議結果報告参照)

賛成討論 中里芳之議員

核抑止は核兵器使用が前提で、非人道的惨禍をためらわないという考えである。

世論調査では、条約に「加盟する方がよい」が73%、「核の傘」は「不要」が55%である。

村山市は「非核平和宣言都市」であり、政府に意見書をあげるのは当然である。

反対討論 石澤祐一議員

唯一の戦争被爆国として、核の保有国と非保有国の橋渡し役を果たし、対話を通じて現実的な核廃絶を目指すべきである。

核兵器禁止条約の理念には賛同するが、現状では批准やオプザバー参加は慎重にすべきと考える。



↑
動画はこちら

一般
会計

183億5,56

特別
会計

企業
会計

86億3,0

この背景は

令和7年7月に竣工した
最上川三難所・三ヶ瀬眺望広場



村山市公式キャラクター
ムララ

気になる！
新「道の駅」

新「道の駅」設計事業者は、
有限会社SANA事務所（東
京都）に決まり、令和11年春の
オープンに向けて、造成工事を
行っています。

特別会計	金 額
国民健康保険事業特別会計	26 億 7,511 万円
財産区特別会計	259 万円
介護保険事業特別会計	30 億 4,673 万円
後期高齢者医療事業特別会計	3 億 9,744 万円
企業会計	金 額
水道事業会計	10 億 6,583 万円
下水道事業会計	14 億 4,247 万円

審議結果報告

(9月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ記載しました)

議案等の名称			議員名	議決結果	市政・公明クラブ										改革クラブ	無会派		賛成	反対	
					松倉慶子	森直也	瀧田順子	吉田創	田中正信	矢萩浩次	石澤祐一	大山正弘	秋葉新一	細矢清隆	高橋菜穂子	高橋卯任	阿部正任			柴崎亮太
請願	第3号	「核兵器禁止条約の実効性を高めるため主導的役割を果たすことを求める」意見書の提出に関する請願	否	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	議	○	○	×	○	3	10
請願	第4号	「核兵器禁止条約の署名・批准と締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書」を提出することを求める請願	否	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	議	○	○	×	○	3	10

議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

☐ = 可決 ☐ = 否決 ○ = 賛成 × = 反対 欠 = 欠席 退 = 退席 議 = 議長 裁 = 裁決

令和6年度 決算特別委員会

決算特別委員会は本会議において設置され、付託された議案は令和6年度一般会計歳入歳出決算1件と国民健康保険事業などの特別会計決算6件です。

各分科会での「議員の意見・要望」を掲載しました。

総務文教分科会

●市民の友は、デジタルメディアの普及に伴い、見直しの時期であり、発行回数の変更やペーパーレス化、若者にむけての情報発信手段などを検討し、より効果的な広報誌となることを要望します。

●地域おこし協力隊事業は、任期を終えた隊員が村山市を離れた際も地域と結びつき、情報発信や交流を継続させることで、持続的なPR効果の創出が期待されます。隊員の任期終了後のさらなる取り組みを要望します。

●ふるさと納税の寄附額は年々増加しているものの、近年の異常気象により農産物の返礼品の確保が困難になるケースが続いています。

返礼品の新たな選定や多様化に注力をしていただくよう要望します。

●財政状況は、堅実な財政運営により健全化比率は良好に推移していますが、今後、大型事業が控えており、財政の見通しには多くの不安が残ります。市庁舎をはじめとした老朽化した公共施設などは、適正な規模への縮小の検討を要望します。

●高齢者の運転免許証自主返納事業は利用率が低く、有効な事業展開が十分に行われていない現状です。今後、利用促進策を講じ、免許証返納へのハードルを下げ、安全運転と移動支援を図るよう要望します。

産業厚生分科会

●農業委員会は、地域農業の将来の在り方をまとめた「地域計画」と農地ごとに将来の利用を明確にした「目標地図」が作成されました。次世代へ農地を確実に引き継ぐためにも、農業者との話し合いの場を設け、計画の改善・更新を継続していくことを要望します。

●本市の重点作物であるサクランボは、高温

●消防インフラは、老朽化が顕在化し、修繕の必要性や耐震性の確保が急務な施設が多数あるのが現状です。非常時に機能せず、市民の安全を脅かすことのないよう、定期的な点検と計画的な設備の更新を要望します。

の影響により収穫量が減少しました。今後とも異常気象が続くことが予想されるためさらなる対策を講じるよう要望します。

●学童保育の在り方については、保護者や地域の理解を得たうえで進めることが重要だと考え、今後、計画が決まり次第、速やかに事業を進めていただくよう要望します。

●除雪事業は、本市の重要な事業です。散水消雪施設は、施設の老朽化や水不足が顕著なため計画的に設備の更新を要望します。

●新「道の駅」整備事業は、管理運営と建築設計の事業者が決定し、着実に事業が進行して

います。引き続きご尽力いただき、確実な進捗が図られるよう要望します。

●田んぼダムは、河川や水路の水位上昇を抑制し、地域の浸水被害を軽減できる効果が期待されています。地域住民の合意形成を図りつつ円滑な導入を目指す。

●三ヶ瀬眺望広場がオープンしました。国道347号線沿いにトイレやあずま屋も整備され、最上川や三ヶ瀬などの景勝地を眺望できます。準の瀬眺望公園と合わせて、市民はもちろん市外の方にも広く周知し、活用していただけるよう要望します。

9月 補正予算

一般会計予算
総 額

7,465万円を追加し、
180億9,253万円

農業振興事業等、
農林水産物等災害対策事業費補助金

811万円

令和7年6月からの高温少雨の対策として、井戸掘削やポンプ購入、遮光資材購入等に補助するもの

POINT

翌年度に繰越
SPAプール改修整備事業

3億1,316万円

冬期間の工事が困難であるため工期を令和8年6月まで延長するもので、予算額に変更はありません

在宅福祉事業
除雪扶助費

540万円

除雪が困難な高齢者世帯などで、住民税非課税世帯から均等割のみ課税世帯に拡充するもの

Jアラート受信機
更新業務委託料

640万円

新型受信機に更新するもの

校舎等整備事業
工事請負費

552万円

落雷被害のあった葉山中学校の放送設備などの更新工事費とするもの

Q 空き家バンクに、360度カメラで家の中や周辺の画像を閲覧できたり、内覧が困難になる積雪期間の問題解消が期待できるVR内覧機能を導入し

Q 本市が空き家の適正管理を促すために設けている補助制度について伺う。
A 安心安全な住環境づくりを促進するため、老朽化し危険な空き家を除却する方に対し補助金を交付している。建物の不良度の状況に応じて付けた点数が100点以上の住宅には国の補助金もあり100万円まで補助金を支給してきた。令和6年度からは市独自で、50点以上100点未満の住宅に対しても50万円までの補助金を支給し、申請件数が増えている。

Q 本市が空き家の適正管理を促すために設けている補助制度について伺う。

A 有効な方法であると思う。前向きに検討する。

Q 空き家の所有者に対する啓発活動について伺う。
A 空き家の問題は、所有者に管理責任



放置された空き家



田中 正信

空き家のない
明るい快適なまちづくりを

答弁 空き家防止に向け
具体策を確実に実行する

動画はこちら



を強く持っていたことが最も重要である。毎年、固定資産の全所有者に対し、独自で作成したチラシを送付している。今後も内容の充実を図っていきたい。



吉田 創

子育てスマイルプロジェクトの成果は

答弁 一定の成果がでている

動画はこちら



瀧田 順子

葉山学園の構想を聞く

答弁 地域と連携し主体性を育み
特色ある教育を目指す

動画はこちら



Q 市長選挙で、志布隆夫氏の無投票当選が決まった。選挙が無かったため、4期目の公約が分からない市民の方が多い。公約は。

A ①まちを整備する
②駅西開発の促進
③子どもたちが夢を持てる教育環境の整備
④高齢者の待遇と環境改善
⑤農業と商工業の活性化。3期目に取り組んだ事業を着実に進めていく。

Q 子育てスマイルプロジェクトの成果は。

A 今年の新入学児童数が、出生数を上回った。転入増加による効果がでている。また、飯葉プラザに相談室を設け、保健師を常駐させたことで、妊婦や保護者からの相談件数が増えている。そして、CMに出演したこ



4期目当選後初登庁 支援者と喜びを分かち合う

とで、周知効果が高まった。本市は子育て環境が良いと市外から移住を検討する人も出てきており、一定の成果が出ている。

Q 駅東・駅西の今後の展望は。

A 駅東は、商店街エリアの再開発を進めており、市が一部買

収し、道路拡張を行い、今後の活用を検討している。市が宅地整備を行ったことで、民間の動きが活発化してきた。駅西は、道の駅の設計者が決定し、令和11年オープンを予定している。ヤマザワ西側の宅

地造成が着手段階であり、購入希望がある。

Q 葉山学園の校舎整備はどのように進んでいるのか。

A 実施設計の受託者と共に必要教室の検討を進めている。職員からの意見や大学教授の助言を得ながら、温かみのある木材の使用や安全柵の設置、トイレや蛇口の増設などを計画し、工事は学習に支障のない範囲で学校と密に協議しながら進めていく。

Q 校舎北側の出入口付近が死角になるが、防犯対策はどうなっているのか。

A 防犯カメラは昇降口・体育館・駐車場・勝手口の4か所に設置。カメラの解像度にも問題はなく、職員研修で安全意識を高めていく。

Q 特別支援教室を2階の中央に配置し



楽しい学びの空間に変わる多目的ホール

Q た理由と教室の安全対策を伺う。
A 特別支援教室は2階と3階に配置し、普通教室に近い環境で交流を図る。大きな窓やバルコニーに対しては書棚を設置するなど安全対策を講じ、必要に応じて対応していく。

その他の質問
・不登校生徒の現状と課題について伺う



阿部 正任

持続可能な地域づくりへの 取り組みについて

答弁 地域に耳をかたむけ
対応していく

動画はこちら



動画はこちら

Q 市の最大の課題として人口減少問題があげられる。

市の人口の推移を見ると、10年前に比べ市全体で約18%の減、楯岡地域では約9%の減にとどまっているものの、他地域では約20%から25%の減、大高根地域では約33%も人口が減少している。

A 人口減少、少子高齢化で学校の統合、地域や集落での行事や共同活動の困難化、地域力の低下や脆弱化が懸念される。人口減少の進む地域には、若い世代に住み続けてもらいたい。子育て世代にかかわらず、人口減少割合に応じた地域への住宅新築、改築へのさらなる加算支援を求めたい。



楯岡地域の新興住宅地

地域加算は考えていない。同居・近居世帯加算もあり、さまざまな支援を活用してもらいたい。

Q 人口の流出などに
より空き家・空き
地が増え続けている。
管理放棄となった物件
は、近隣住民の環境的・
心理的な重圧となって
いる。やむを得ず近隣

住民による刈払い作業などを行う場合への助成は出来ないか。

A 他人の土地への無
断での侵入、作業
上の安全責任など、市
として推奨しがたい。

その他の質問
・新たな観光への
取り組みについて



森 直也

民生委員・児童委員の 担い手不足について

答弁 「共生」のもとで
意識改革を期待したい

動画はこちら



動画はこちら

Q 地域福祉の一役を担っている民生委員・児童委員の担い手不足が全国的に課題となっている。深刻化した問題を抱え、地域福祉を支える民生委員・児童委員の本市における取り組みについて伺う。

①定数見直し
②ダブルレットの支給
③活動費の増額
④「福祉推進員」導入
⑤今後の考え方

る枯損木が増えている。森林の景観、土石流などの自然災害について伺う。

A 東沢などの森林の景観については常日頃から気にかけている。自然の移り変わりに抵抗することは難し

い。対応を急げば自然の形態を壊す恐れもある。50年から100年間隔の長いスパンで考えなければならぬ。

森林破壊による土石流などの自然災害に対しては、県と十分に連携を図っていきたい。

Q 夏季の高温少雨で「松くい虫」によ



民生委員・児童委員の視察研修



柴崎 亮太

消防庁舎建て替えの検討について

答弁 青写真は必要と考えている

必要と考えている

動画はこちら



討を進めていく。

その他の質問
・市長4期目に向けて

Q 緊急出動の増加などにより、非番招集など職員の業務量の増加による心労の増大があるなかにおいて、定数の見直しや職員確保に向けた取り組みについて伺う。

A 将来を見据えた上で、状況を見ながら検討していく。

Q 消防庁舎は建設から50年が経過している。現在本市で想定されている大規模災害発生時の懸念点について伺う。

A 大規模な地震を想定した場合、救急車両の大型化により車庫内のスペースが狭くなっているため、車両同士の衝突や、シャッターが破損し出動がでさなくなる可能性がある。

Q 市民の安全を守る上で、消防庁舎の



建設から50年が経過した消防庁舎



中里 芳之

エアコン購入費助成制度を

答弁 まずは生活保護世帯から実施する

動画はこちら



設を。

A 事故の可能性もあるので補助金という形で市が推奨することはできない。

Q 今夏は昨夏を超える猛暑。しかしエアコンのない家庭や、物価高で買い替えがで

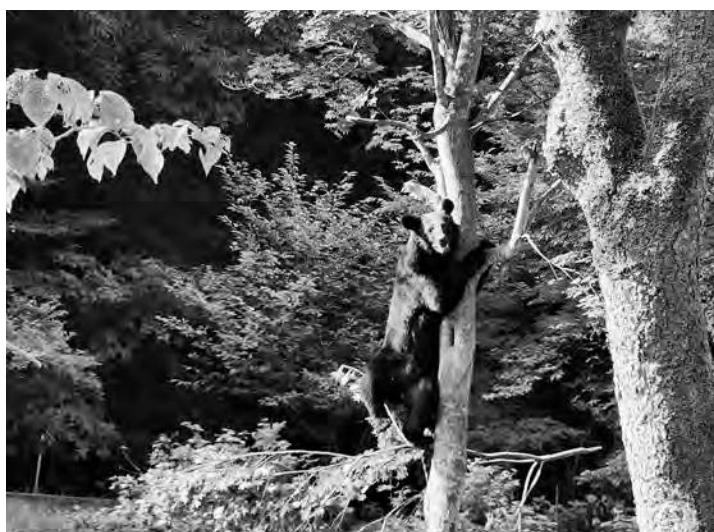
A 検討する。一斉にはできないが、間違いない来年から、生活保護世帯から実施できよう検討する。

Q クマの出没件数が昨年同時期の4倍以上となっている。①ワナの遠隔監視や追跡のためのドローンなど、ICTの活用を。②耕作放棄地の数や放置された柿や栗の木は、クマを誘引する可能性がある。不用果樹伐採支援や、地域主体の緩衝帯整備などへの補助制度創設を。

A ①研究していく。

②ドローン導入については、来年度交付金要望調査の中で要望している。②補助制度の情報を集めながら研究していく。

Q 空き家問題で厄介なのは、所有者に管理・解体する資金のない空き家。そして迷惑を被るのは地域住民。住民組織を補助対象とする空き家解体補助金や適正管理補助金の創



頻繁に出没するクマ 市街地への出没が心配

11月4日、5日に臨時会が開催され、正副議長をはじめとして各委員会の委員の選出を行い、新しい議会体制が決まりました。

また、令和7年度村山市一般会計補正予算、その他の議案1件が提案され全会一致で可決されました。



議長 細矢 清 隆

市民の皆さまの温かいご支援とご協力を心からお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。

11 むらやま市議会だより127号
令和7年11月15日発行

総務文教常任委員会 行政視察（岩手県）

●7月23日 ①紫波町 地域公共交通について

コミュニティバスの維持困難により路線を廃止しフルデマンド型のバス運行に移行した事例です。

本市のように町が東西に広がっている地理条件の中、A I配車システムなどを活用してより効率的な運航を実施しています。

●7月24日 ①紫波町 オガールプロジェクトについて

未利用の町有地を活用した民間主導によるまちづくり構想で、プロジェクト対象エリア内には、

1. オガールプラザ（官民複合施設）
 2. オガールベース
 3. オガールセンター
 4. オガールタウン
 5. エネルギーステーション
- の5つの施設があります。また同エリア内に

紫波町役場も併設され、行政・子育て・文化スポーツ・教育・医療・飲食店など、生活の基盤となるまちづくりが行われています。

特筆すべき事項としてオガール紫波(株)の財務の95%が産直の収益によって運営されるなど、農産品が経済循環の主役となっています。



5つの施設で構成されている、オガールプラザを見学

●7月24日 ②岩手町 道の駅

石神の丘について

道の駅に美術館が併設され、美術館にさまざまな工夫や仕掛けがなされるなど、小規模ながらもしっかりと収益を生み出していました。



美術館が併設されている道の駅 石神の丘

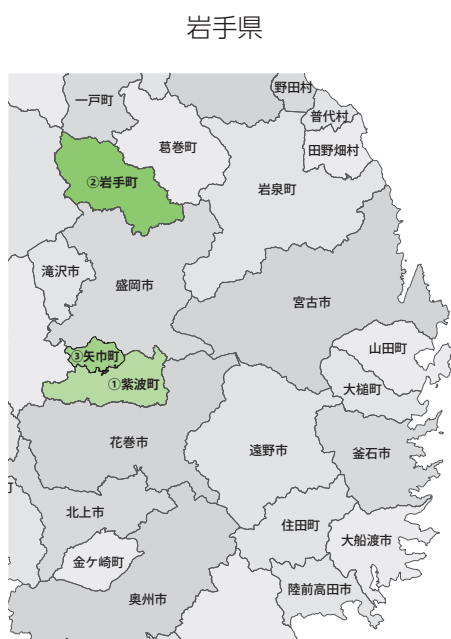
●7月25日 ③矢巾町 公共交通政策について

県都である盛岡市に隣接することや大規模な大学や高校が存在するなど、好条件をしっかりと活かした分析や計画が実施されています。



矢巾町で公共交通の取り組みをうかがう

また広域連携も視野に入れた事業が展開されるなど、本市においても取り組むべき基本をしっかりと押さえた事例でした。



北村山消防指令センター 視察研修

●8月4日

高機能化していく消防通信システムや消防緊急デジタル無線設備などの更新・維持管理には多額の経費が伴い、自治体にとって大きな財政負担となります。そこで今年度4月から、村山市・東根市・尾花沢市・大石田町で消防指令業務の共同運用が開始されました。

北村山消防指令センターは東根市消防本部に隣接。増築に1億3千400万円、指令台工事には5億8千800万円（村山市の負担金は1億9千400万円）を要しました。

共同運用で、北村山管内の災害発生情報一



北村山管内の119番通報がここに集約

元化による初動体制・応援体制の強化や、指令装置の整備費用と維持管理費を低減することができま

センターへの職員派遣は、東根市から10名、村山市と尾花沢市からそれぞれ5名、計20名です。

設備が充実し、統合型位置情報通知装置による災害場所特定や、自動出動指定装置による隊の自動編成で、時間短縮が図られています。

視察の最中に119番通報があり、緊迫した中で対応がなされ、共同化された指令業務の効果を見ることができました。

県後期高齢者医療 広域連合議会

● 7月28日

定例会が山形県国保会館で開催され、令和6年度一般会計決算の認定、令和7年度一般会計補正予算、広域連合副広域連合長の選任について、監査委員の選任についてなど、議案8件を原案通り可決・同意しました。

令和6年度一般会計決算の収入済額合計は10億1655万円で、支出済額合計は8億6247万円となり、歳入歳出差引残額は1億5408万円となりました。残額は令和7年度へ繰り越し、構成市町村へ返還予定です。副広域連合長に阿部誠三川町長を選任しました。監査委員として新たに山川稔彦氏と田中英子山形市議会議員を選任しました。

北村山公立病院組合議会

● 7月30日

定例会が東根市議会

議会活動

■ 7月

- 2日 産業厚生常任委員会行政視察
- 7日 広報広聴委員会
- 9日 総務文教常任委員会行政視察
産業厚生常任委員会協議会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 広報広聴委員会
- 15日 総務文教常任委員会行政視察
- 17日 広報広聴委員会
- 18日 全員協議会・総務文教常任委員会協議会
産業厚生常任委員会協議会
共立衛生処理組合議会議案内示・議会運営委員会
- 22日 北村山公立病院組合議会正副議長議案内示
議会運営委員会
- 23日 総務文教常任委員会行政視察(～25日)
- 28日 県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会・定例会
共立衛生処理組合議会議員全員協議会
全員協議会・定例会
- 30日 北村山公立病院組合議会全員協議会・定例会
- 31日 総務文教常任委員会協議会

■ 8月

- 4日 北村山消防指令センター視察研修
産業厚生常任委員会議会報告会及び意見交換会
- 7日 県市議会議長会議員研修会
- 8日 共立衛生処理組合議会議案内示・議会運営委員会
- 18日 北村山公立病院組合議会議案内示・議会運営委員会
共立衛生処理組合議会全員協議会・臨時会
- 19日 広域斎場事務組合議会議会運営委員会
総務文教常任委員会協議会
- 21日 全員協議会・会派代表者会議
産業厚生常任委員会協議会
- 28日 総務文教常任委員会協議会

■ 9月

- 1日 北村山公立病院組合議会議員全員協議会
全員協議会・臨時会
- 8日 産業厚生常任委員会協議会
総務文教常任委員会協議会・会派代表者会議
- 16日 全員協議会
- 17日 議会運営委員会・広報広聴委員会
- 19日 広域斎場事務組合議会全員協議会・定例会
- 24日 全員協議会・本会議・決算特別委員会
予算特別委員会
- 26日 一般質問(～29日)

議場で開催され、決算認定の他1議案を原案通り可決しました。令和6年度入院患者数は延べ7万7868人、外来患者数は延べ9万4200人と前年より増加しているものの、物価高騰や人件費の増加により、決算は当年度純損失が4億2480万円となりました。

● 9月1日

臨時会が東根市議会議場で開催され、4議案を原案通り可決しました。東根・尾花沢両市議会の選出議員変更に伴う議長選を行い、

議長に東根市議会議長の高橋鉄夫氏を選出したほか、議会運営委員および組合監査委員を選任をしました。現在の許可病床数は300床ですが、病床などを除く実際の可動病床は248床であることから、国の病床数適正化支援事業を活用し、現在の許可病床数300床から10床削減し290床とすることとしました。

● 8月18日

定例会が東根市議場

東根市外二市一町 共立衛生処理組合議会

で開かれ、令和6年度会計決算と同組合会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例改正の2議案を原案通り可決し、閉会しました。令和6年度決算の歳入総額は23億8863万円で前年度比1・5%の増となりました。ごみ処理手数料などが減額となりましたが、組合を構成する各市町の負担金が増えたことによるものです。歳出総額は、23億2068万円で前年度比3・2%の増となりました。ごみ収集委託料などの

事業費、公債費が増えたことによるものです。構成する各市町の負担金総額は14億1468万円で前年度比8・1%の増、本市の負担金は2億928万円でした。令和6年度決算は、歳入8594万円、歳

● 9月19日

定例会が河北町議場で開かれ、令和6年度歳入歳出決算を認定し、第1回補正予算、監査委員の選任を原案通り可決しました。

河北町ほか二市 広域斎場事務組合議会

出7473万円、村山市の負担金は2153万円でした。第1回補正予算は、歳入歳出にそれぞれ1126万円を追加し歳入歳出の総額をそれぞれ9718万円としました。以前提起のあった、友引における火葬や火葬炉のオープン化、それに伴うシステムの導入については、人件費など経費の拡大、実際の利用者数の把握、費用対効果についてさらなる検討が必要との報告がありました。



市民の声



せんが けんしん
千賀 研真さん
(大久保)

～ 農業の未来 ～

令和6年に大久保に移住し、今年で2年目の新規就農です。今は弟と2人で、スイカ・白菜を栽培しています。

出身は奈良県で、小さい頃から農業に興味を持ち、さまざまな土地の農業を見てきた中で、山形の農業に魅力を感じました。

異郷の地での新規就農は多くの不安がありました。小屋のある家、農地の確保、機械の購入、栽培技術など多くの課題がありましたが、地域の方々にはとても温かく受け入れていただき、お力を貸していただくこともたくさんあります。

農業人口が減少していく中でも、少なからず私のような新規就農の方も出てくる可能性があります。そんな中でどうサポートできるかが今後の農業の発展につながると思います。

議員の方々と共に、農業の未来を支えていきたいです。



出荷を待つスイカと白菜



今が旬の白菜畑

〈表紙写真〉

葉山中学校の文化部には、吹奏楽部があり、1・2年生7名の仲間で、毎日技術を高め合いながら練習に励んでいます。主な活動は、入学式・卒業式をはじめとする式典や壮行式など学校行事での演奏です。また、今年から楯岡中学校と合同で練習をしながら各種大会や演奏会に参加しています。みんなで1つの曲を作り上げていく吹奏楽の楽しさを感じるようになり、より良い音を求めて力を合わせて頑張っています。



委員長
副委員長
委員

広報広聴委員会

細矢 清隆
高橋 卯任
中里 芳之
田中 正信
阿部 正任
瀧田 順子
森 直也
松倉 慶子

あとがき

向寒の候、街のあちこちで真っ赤に色づいたコキアが目につく季節となりました。体調管理に配慮されお過ごしください。

村山市公式LINE

村山市公式LINEアカウントでは、防災、子育て、イベント情報など、さまざまな情報を配信していきます。ぜひ、友だち登録をしてご活用ください。



LINEアプリ内
[友だち追加]で
二次元コードを
読み取ってください！→

